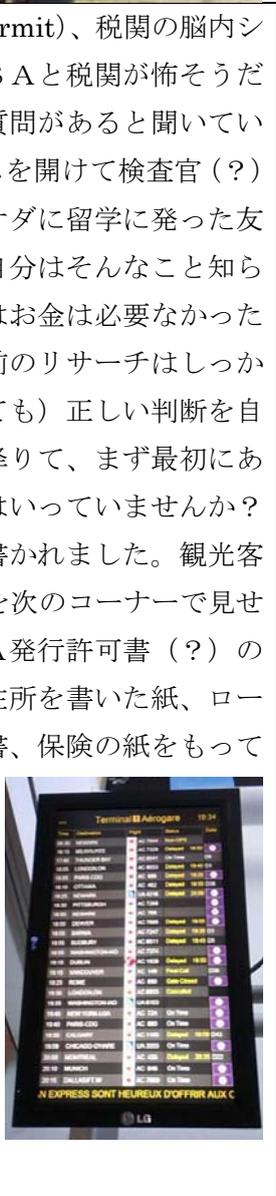




第 2740 地区 国際青少年交換委員会 2016 年 8 月交換学生報告

交換学生名	袖岡 慶佳	ホストクラブ委員長名	Burton McKinlay
ホストクラブ名	Watford rotary club	受入学校名	Strathroy District Collegiate Institute
ホストファミリー名	Rhonda and George Noll	ホストファミリー住所	5127 First School RD Watford, ON N0M 2S0
新ホストファミリーへ移動予定日	未定		
新ホストファミリー名	未定	新ホストファミリー住所	未定

健康状態	良好です。問題ありません。が 8 月なのにストーブが必要で寒いです！	
各種行事への参加	まだ何も行われていません。	 <p>到着したときの出迎え→</p>  <p>空港から帰る途中で！→</p>

<p>学校関係</p>	<p>学校は9月6日から始まります。ホストファミリーに連れて行ってもらいました。(夏休みのため外観の写真を撮っただけです。)学校は大きかったです。そして、学校の体育館は開いていたので行きましたが、中はスケートリンクでホッケーをするようになっていました!!寒い国ならではだなと思いました。学校は12年生に入る予定です。自分の本当の学年より1つ上になります。また、学校の隣にはカトリックの全く別の高校があり、体育館やカフェテリアを共有しているそうです!</p>	
<p>その他</p>	<p>行く飛行機の中では着いてからの乗り継ぎとVISA (study permit)、税関の脳内シミュレーションを何回もして、映画を見て、寝ました。特にVISAと税関が怖そうだと思っていました。観光VISAでなく、学生VISAは多くの質問があると聞いていたし、税関については、日本食を持ち込んでいたため、スーツケースを開けて検査官(?)にチェックをされるのかなと思ったからです。また、同時期にカナダに留学に発った友達がカナダ国内線の預け荷物に料金がかかったと言っていたので自分はそんなこと知らなかったのが戸惑って不安に陥ってしまっていました。実際私はお金は必要なかったです。でも、このように予期せぬことが起こることもあるから事前のリサーチはしっかりしておいて、ほかの情報が入ってきても(予期せぬことが起きてても)正しい判断を自信をもって下せるようにしておくべきだと思いました。飛行機を降りて、まず最初にあるのが入国審査です。そこでは税関申告書についての質問(肉ははいっていませんか?等)聞かれ、税関申告書にピンクで“S”のようなものを大きく書かれました。観光客には書かれておらず、それがstudy permitの“S”なのか、それを次のコーナーで見せるとあっちと観光客は行っていない方に案内されました。VISA発行許可書(?)のほかに学校の入学許可書、銀行の残高証明、ホストファミリーの住所を書いた紙、ロータリーのギャランティフォーム、後見人の書類、VISAの領収書、保険の紙をもって行っていました。いつもこうではないと思いますが、最初の2つとパスポートですぐにVISAをだしてくれました。そしてそれをでると、なんと!!!乗り継ぎの飛行機がキャンセルされることが分かりました。ショックだし、なぜ!?どうしろというのか!という気持ちでした。チケットの振り替えがなされました。しかしショックなことになんと23:30発で、出発まで6時間待たなければなりませんでした。時間はたくさんあったのでデスクに並んで、23:30より速い便に変更できないか求めることにしましたが満席だと言われました。その時に私にあったプランは</p>	

- ① 早い便に乗るためにキャンセル待ちをする（乗れるかわからず、乗れなかったら遅くなる）
- ② 23：30に乗る（とても遅い）
- ③ 荷物を返してもらってにトロントまで迎えに来てもらう（払い戻しできるかはわからない）

でした。③にすることにしました。荷物の取り返し方は聞いてなかったので別のカウンターに聞きに行きました。するとなんと！そこで早い便にかえてくれたのです！！一時は預けた荷物がなかなか見つからず明日の便で届けますという話にもなりましたが、結局見付き、無事、予定とほぼ同時刻に出発できました。その時の気分ったら素晴らしいものでした。(笑)やったぞ！！というような。席は本当に私以外満席で、なんで乗れたのかな、って思っていました。

カナダ人は優しいしフレンドリーだとつくづく思います。飛行場でいろいろ聞いても誰でも優しく答えてくれますし、初めて会った人でもありがとうとかジョークを言っています。スーパーのレジ係の人がいろいろ質問してきたりもしました。(笑)

着いてからの1週間ぐらいはコテージに行きました。湖のほとりにあり、アンティークな雰囲気でもとてもリフレッシュできました！！今日は親戚で集まってレバノンの伝統の食事をしました！